

| | | | | | |
|------|---------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名 | ビジネス日本語 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 辻 周吾 | 開講期・曜日・時間 | 前期 月曜日 2 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 |

主題と概要

毎回の授業で、まず、日常生活やビジネスの場で欠かせない敬語について指導します。その後、ビジネス場面におけるロールプレイを行います。授業の後半は、BJTビジネス日本語能力テストを実際に体験し、その解説を行います。

到達目標

敬語や適切な敬意を表す表現を使うことができるようになる。
限られたビジネス場面での日本語による適切なコミュニケーション能力を身につけられるようになる。
協働力・問題解決力・異文化理解力などを身につけられるようになる。

提出課題

ビジネス日本語、ビジネスコミュニケーションに関するテーマのレポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートについて、授業中にフィードバックします。

評価の基準

授業への参加度（75%）、中間レポート（15%）、期末レポート（10%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

教科書

.使用しない。

参考図書

| | | | | |
|--------------------------------|-----------------------|------------|------|--------------|
| .マンガでわかる実用敬語初級編. | 並刈優子 | アルク | 2200 | 4757416334 |
| .初級から超級まで STEP式にほんご練習帳 敬語. | 松本節子 | 株式会社コムコム | 1430 | 97848968951 |
| .BJTビジネス日本語能力テスト 公式 模擬テスト&ガイド. | 公益財団法人 日本漢字能力検定協会（編集） | 日本漢字能力検定協会 | 1870 | 978489096369 |

その他

授業中にプリントや資料を配布します。

授業計画

- 敬語の種類と働き/場面把握問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（特別な形）/敬語種類問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（お、ご、になる）/敬語種類問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（～ら、れる）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（特別な形）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（お、ご、にする）/状況把握問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（特別な形）/資料理解問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 丁寧語（です、ます）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 美化語（お、ご）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 総合問題（1回目）/総合理解問題（3回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 総合問題（2回目）/読解・文法問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 総合問題（3回目）/表現理解問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（1回目）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（2回目）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（3回目）/総合理解問題（3回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--|--|
| <input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習） | <input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> エ：グループワーク |
| <input type="radio"/> オ：プレゼンテーション | <input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク |
| <input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国人留学生が、ビジネスの場で欠かせない敬語の基礎を身につけることで、将来的に、ビジネスの現場においても物怖じすることなく、職場における上司や同僚ともしっかりコミュニケーションを取ることが出来る。また、ビジネスにおける挨拶やメールのやり取りなどの場面にも、対応することができる。こうしたことから、「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材を育成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ビジネス場面におけるロールプレイを行います。学生同士、また教員と学生間で意見を交わす機会を設けます。

実務経験の有無及び活用

備考

授業において、ビジネス日本語に関する講義として、外部講師をお呼びする場合があります。